

中国農業銀行の株式上場と不良債権問題

研究員 王 雷軒

1 中国農業銀行の株式上場

中国では、国有企業の経営の非効率性が長年の懸案であったが、株式会社化して証券取引所に上場することで、この問題を解決し、それを成長の支柱として据えたいとの考え方が有力であった。4大国有商業銀行のうち、中国建設銀行（2005年10月）、中国銀行（06年6月）、中国工商銀行（06年10月）の3行も、そのような観点から05～06年にかけて次々と株式上場を果たした。そして、未上場であった中国農業銀行（以下「農銀」）も、10年7月に上海、香港の両証券取引所に上場した。

農銀が他の3行に比べてかなり遅れた上場となった大きな要因としては、不良債権比率（不良債権残高/貸付残高）が高かったことにあると思われる。その背景には、農銀が農業分野への融資を義務付けられており、都市部への融資に比べて資金回収が遅れがちになっていたことがある。

本稿では、農銀の概況を簡潔に紹介し、中国の大手銀行（4大国有商業銀行と交通銀行）全体の不良債権の状況を考察したうえで、農銀の不良債権問題を検討してみる。

2 資産規模では3番目の大手銀行

資産規模からみれば、09年度の農銀の総資産は8.9兆元（約116.4兆円）と、中国では3番目の大手銀行（工商銀行11.8兆元、建設銀行9.6兆元、中国銀行8.7兆元、交通銀行3.3兆元）である。

また、農銀の09年度の貸付金残高は4兆元（約52.3兆円）であり、このうち、県域への貸付が占める比率は29%である（第1表）。農銀は、県域での金融業務を「三農金融業務」（農業・農村・農民向けの金融業務が多いため）と呼んでおり、2,048の県レベルの支店（本店 省レベル支店 市レベル支店 県レベル支店）

第1表 最近における農銀の概況

（単位 億元）

	08年度	09
総資産	70,144	88,826
うち県域資産 （全体に占める比率）	27,152 (39%)	32,351 (36%)
預貯金残高	60,974	74,976
うち県域からの預貯金 （全体に占める比率）	25,143 (41%)	30,346 (40%)
貸付金残高	30,150	40,115
うち県域への貸付 （全体に占める比率）	8,056 (27%)	11,501 (29%)
不良債権残高	1,341	1,202
貸倒引当金	852	1,267
自己資本比率	9.41%	10.07%
純利益	515	650

資料 2010年7月「中国農業銀行2009年度報告」

を有するため、他行に比べ県域においての三農金融業務が強いと見られる。

なお、農銀の自己資本比率は近年高まっており、09年度には10%を超え、また純利益は650億元（約8,500億円）が計上されるなど、経営状況はかなり改善してきている。

3 低下した農銀の不良債権比率

ひところ問題になっていた大手銀行の不良債権問題は、近年解決の方向に向かっている。

中国銀行業監督管理委員会（CBRC）によると、公的資金の注入を契機として、大手銀行全体の不良債権残高は、04年3月末の1.9兆元（約24.8兆円）から10年6月末の0.3兆元（約3.9兆円）にまで減少した。また、不良債権比率も04年3月末の19.20%から10年6月末の1.46%へと大幅に低下した（第1図）。

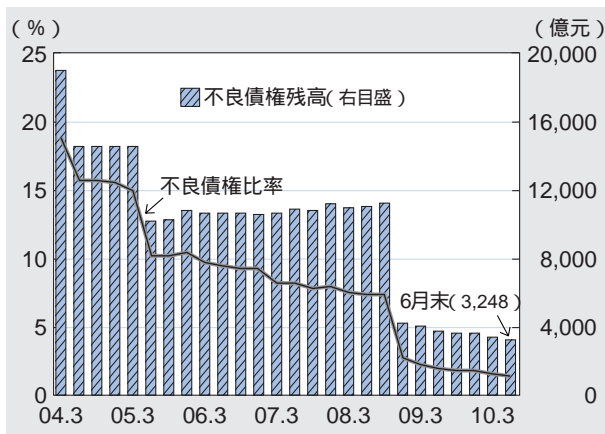
一方、公的資金の注入を受け入れる直前の4大国有商業銀行の不良債権比率をみると、建設銀行（02年）が16.97%、中国銀行（03年）が16.28%、工商銀行（04年）が21.16%に対し、農銀（07年）は23.57%であり、農銀の不良債

権比率は、ほかの3行に比べて、高いものとなっていた(第2表)。

前述の通り、その後の公的資金の注入により、農銀の不良債権比率は、08年度末には4.3%へ急低下し、ほかの3行との間にあった大きな差が縮小した。しかし、09年度末の不良債権比率は他行より依然高い状態にある。

こうした農銀の不良債権比率低下をもたらした公的資金の注入としては、08年に財政部(日本の財務省に相当)と政府全額出資の中央汇金(国有の大きな投資機関家)が、農銀へ合計2,600億元(約3.4兆円)の資本注入を行い、さらに財政部は農銀の6,651億元(約8.7兆円)の不良債権を買い取った(当該不良債権の回収事務などは農銀が行う)ことがある。さらに、

第1図 中国における大手銀行の不良債権の残高と比率の推移



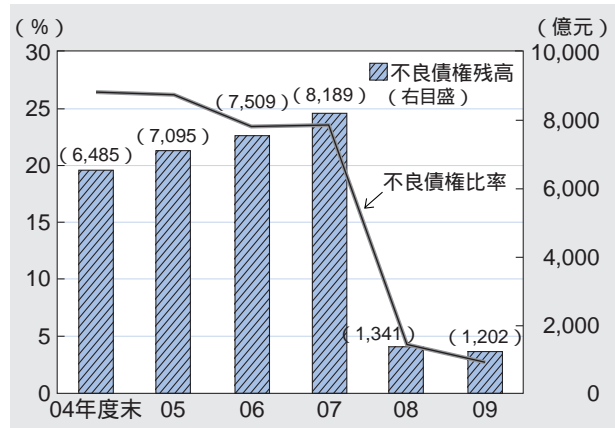
資料 中国銀行業監督管理委員会(CBRC)資料
 (注)1 四半期データ。
 2 大手銀行は中国工商银行、中国農業銀行、中国銀行、中国建設銀行、交通銀行の5行。
 3 不良債権の残高は、不良貸款(不良債権) = 次級(要注意先) + 可疑(破綻懸念先) + 損失(破綻先)

第2表 4大国有商業銀行の不良債権比率の推移

	建設銀行	中国銀行	工商银行	農銀
02年度末	16.97
03	4.27	16.28	...	30.62
04	3.92	5.12	21.16	26.73
05	3.84	4.62	4.69	26.17
06	3.29	4.04	3.79	23.43
07	2.60	3.12	2.74	23.57
08	2.21	2.65	2.29	4.32
09	1.50	1.52	1.54	2.91

資料 各銀行のHPで公表されている年報から筆者作成
 (注) ...はHPで公表されていない比率。

第2図 農銀の不良債権残高と比率



資料 中国農業銀行『年度報告』各年

中国人民銀行(中央銀行)も農銀の1,506億元(約2.0兆円)の不良債権に見合う無利息貸付を実施し支援を行った。

また、08年末からの政府の景気対策による資金需要の高まりで農銀の新規貸付額が大きく増加したことも、不良債権比率の低下に貢献した(09年度末は2.91%へ低下)。

こうした多額の資本注入と不良債権の処理によって、農銀の株式上場が可能となった。しかし、第2図に示すように、不良債権の処理を経て不良債権残高は急激に減少したものの、09年度の不良債権残高はいまだ1,202億元(約1.6兆円)である。大手銀行の不良債権残高(3,248億元、約4.3兆円)に占める農銀の不良債権残高は依然として大きい(第1図参照)。

4 おわりに

長年、足かせとなっていた不良債権問題がほぼ解消され、農銀の株式上場が実現した。しかし、農銀は、前記のように、県域で農業関係の貸出先が多いため与信管理能力の向上が必要であり、また経営の透明性確保や経営責任の明確化を含むガバナンスの強化も不可欠である。これらが整備されないと、不良債権問題が再び発生する可能性もあることに留意が必要であろう。

(おうらいけん)